

## 「南多摩のメカイ製作技術」が、 都内で初めて東京都指定の無形民俗文化財(民俗技術)に！

### 1 文化財指定について

東京都文化財保護審議会から東京都教育委員会に対し、令和5年2月15日付けで答申「東京都指定有形文化財の指定等について」が提出されました。

令和5年3月に開催される東京都教育委員会の決定及び都公報での告示をもって、「南多摩のメカイ製作技術」が「東京都指定無形民俗文化財(民俗技術)」として指定され、市内で活動する「多摩めかいの会」が保存団体として認定されることになります。

※「東京都指定無形民俗文化財(民俗技術)」の指定は都内初です！

### 2 「めかい」について

目籠(めかい)とは、多摩地域の里山に自生する篠竹を使って作られていた、日常生活用具として使用していた竹籠のこと。文献上の記録では、起源は江戸期の天保年間といわれており、発祥地は絹織物業で繁栄する八王子宿近くの由井村とされ、この経済の中心からめかいが東へと伝播していった結果、多摩村が最大の生産地となり、由木村がこれに続く地位を占めるに至ったとされています。

### 3 「多摩めかいの会」について

市主催の市民活動きっかけづくり事業「多摩のめかいづくり講座」の修了生が集まってできた会。多摩地区のめかい作り経験者の高齢化が進み、伝統文化が消えてしまうことから「めかい」文化を継承していく活動を行っています。

【設立年】 平成25(2013)年

【会員数】 30人前後

【活動状況】 多摩市立グリーンライブセンターを中心に月2回、定例的に活動を行っています。めかい作りの材料は多摩市和田にある「ななやま緑地」で材料となる篠竹を採取。毎年、多摩市立グリーンボランティア連絡会と共催でめかい作りの講座を開催しています。



問い合わせ

教育部 教育振興課

電話：042(338)6883